

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	移植適応未治療多発性骨髄腫に対するレナリドミド、ボルテゾミブ、デキサメタゾン併用療法の後方視的検討
研究責任者	血液内科 副部長 塚田信弘
研究機関名	日本赤十字社医療センター
研究目的と意義	<p>欧米ではレブラミド、ベルケイド、レナデックスの併用療法（RVD療法またはRVD-lite療法）は初発の多発性骨髄腫の標準的治療となっています。当院でもレブラミドが初発の多発性骨髄腫に保険適応となった2016年3月からRVD-lite療法を行ってきました。しかしこの治療はまだ日本全体に普及しているとはいえ、日本人における標準的な治療スケジュールや薬剤の投与量がまだ十分に評価されているとはいえない現状です。この研究は、当院をはじめとする多施設でRVD療法およびRVD-lite療法を行った患者さんの治療内容や治療効果を後方視的に解析することで、日本人における標準的な寛解導入療法の確立に役立てることを目的としています。</p>
研究方法	<p>対象：2016年3月～2017年12月にレブラミド、ベルケイド、レナデックスの併用療法（RVDまたはRVD-lite療法）により初回治療を行った移植適応の多発性骨髄腫の患者さんを対象とします。患者さんの背景（年齢、性別、骨髄腫のタイプ）、治療内容、治療効果について診療録をもとに匿名可を行ったうえでデータベース化して解析を行います。</p> <p>倫理的配慮：個人情報保護には十分な配慮を行った上で解析を行います。上記対象に該当すると思われる患者さんで、本研究への登録を希望されない方は当センター血液内科までご連絡下さい。</p>
問い合わせ先	<p>日本赤十字社医療センター 血液内科 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者：塚田 信弘 TEL：03-3400-1311 FAX：03-3409-1604</p>